



1 自己評価（評価結果及び分析・改善方策）

A：目標よりもよくできた B：ほぼ目標通りできた C：目標に届いていない

観点	評価	説明
学習 学力 体力	A	授業改善に向けて協同学習を進め、年間9回講師を招聘し、2回授業公開を実施した。どんチャレ（計算問題）や3年目となる放課後学習、音読暗唱の取組等により学力も向上してきている。体力面ではなわとび運動に取り組んだ。 今後協同学習のレベルアップや放課後学習の充実に力を入れる。体力面では持久走運動にも取り組む。
くらし	A	時間を守ることやトイレのスリッパそろえ、掃除など児童は継続してよく取り組んでいた。あいさつは今少しのところはあるが、以前よりはできるようになった。児童の自己成長感（自分たちはよくなっている）はぐっと高まった。
楽しい 学校	B	なかよし班活動や学級活動、行事等で楽しい学校づくりを目指している。「学校が楽しい」と答えた児童が増えた。 今後児童の主体性や友達同士のつながり、教育相談等をいっそう充実させていきたい。
連携	B	今年度学校支援地域本部事業により、地域との連携が大きく進んだ。PTAでも3部会それぞれが児童の成長に向けて取り組んだ。 今後は学習習慣づくりや自己肯定感の涵養に向けて家庭との連携をいっそう進めたい。

2 学校関係者評価委員会

中西 弘子	石井 昌子	實成 喜久治
檜本 学	奥 勝美	國米 まゆみ
樋口 晋一		

3 学校関係者評価

5：目標よりも大変よくできている 4：よくできている

3：ほぼ目標通りできている 2：もう少し努力がいる 1：努力がいる

観点	評価	説明
学習 学力 体力	4	協同学習を中心に授業改善に向けた熱心な取組やどんチャレや放課後学習など様々な取組によって学力アップが図られている。今後、自主学習や読書の取組を期待している。スポ少に多く入ってほしい。
くらし	5	きまりがよく守れ落ち着いたくらしができている。特にあいさつが昨年度に比べよかった。
楽しい 学校	3	いろいろな行事やなかよし班や学級でみんなで協力してよくがんばっている。しかし、学校が楽しく思っていない子も一部にいる。
連携	4	地域との連携がとてもよく進んだ。家庭との連携も進んだが児童の成長に向けていっそうのレベルアップを図ってほしい。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

(1) 学力の充実を図る。

- 協同学習に取り組み、考える力や聞き合い伝え合う力を育てる。
- 基礎基本の定着を図る。（どんチャレや放課後学習の充実）
- 読書力を養う。
- 家庭学習の充実を図る。

(2) 児童との関わりを大切にする中で、一人一人の成長を支える。

- 夢や目標をもたせる。（キャリア教育の推進）
- 一人一人のがんばりや成長を認め、意欲や向上心を育てる。
- 一人一人を生かせる場を設定するなどして、やりがいや自信を育てる。

(3) 居心地の良い学級・学校づくりを進める。

- お互いを認めあえる友達関係づくりを進める。
- 児童自らが自分たちのくらしの向上に向けて取り組むよう支援する。
- 規範意識を育て、落ち着いた学校づくりを進める。
- 整った環境づくりを進める。

(4) 地域・保護者との連携を進める。

- 学校支援地域本部事業を活用し、地域と一体となった学校づくりを進める。
- アウトメディアや学習習慣づくりなど家庭との連携を進める。